

# REGENSBURG

## レーゲンスブルク便り

文と写真: 吉村美佳(レーゲンスブルク在住)

第7回配信 2016. 1 月号

1

朝日出版社

〒101-0065 東京都千代田区西神田3-3-5 TEL: 03-3239-0271  
[URL] <http://www.asahipress.com>



黄金の本に書かれた内容を読み上げるニコラウスとクランボス

### 🔔 ドイツで祝うクリスマス

今から22年前、バックパッカーであった私は、縁があつてベルリンで一般家庭に滞在しクリスマスをお過ごした。

居間にある大きなクリスマスツリーと、その下にぎっしり並ぶプレゼント。豪華な食事の後にプレゼントを手にし、開けて喜ぶのに合計2時間も3時間もかかった。あのカルチャーショックは今でも忘れられない。



居間に飾られたクリスマスツリーとプレゼントの山

ここレーゲンスブルクでも、毎年そんなクリスマスが繰り返される。

ドイツでのクリスマスは、24日の夕方から始まる。午前中は最後の買い物に追われる。午後から26日までお店等は全て閉まり、家族揃って過ごす時間となる。

職場や学校、習



家族で過ごすクリスマス



クリスマス・ディナー

い事先などで、クリスマスパーティーが催されるので忙しい時期となる。

また、膨大な量のクリスマスプレゼントは、11月末から買い込まれるのだが、多くのお店ではレジ待ちの長蛇の列。早め早めの準備が望ましい。



## 🔔 聖ニコラウスとクランポス

アメリカのコカ・コーラ社が広めたとされるサンタクロース。その元となるのが聖ニコラウス。

良い子にくるみやアーモンド、りんごなどをプレゼントする聖人で、12月6日が聖ニコラウスの日となる。

聖ニコラウスは黄金の本を持っており、その中には、その子供の1年間の行いの中で良かったこと、悪いことが全て書かれている。

悪い子にはクランポスがお仕置きをするのだが、小さい子供は怖がって泣き出すこともあるので、クランポスの同行はあまり一般的ではない。

教会や、役所などが手配するニコラウスが各家庭を訪問。勿論、黄金の本の内容やプレゼントは事前に親が用意。

街中や、幼稚園、学校などにもニコラウスは出沒するが、先生が衣装を身にまとっているのは、既に生徒達にはばれている。



頼まれてニコラウスの杖を持ってあげる。  
ニコラウスは黄金の本を元に子供に話しかける。



1階の練習室には、それぞれ異なるタイプのパイプオルガンが。

## 🔔 世界最古の音楽学校

レーゲンスブルクの旧市街からドナウにかかる石橋を渡ると、たどり着くのがシュタットアムホーフ。

自由都市であったレーゲンスブルクと対比的に、バイエルンの町であったこの地区は、1924年以降レーゲンスブルクの一部となった。

2006年に、旧市街および石橋とシュタットアムホーフは、世界遺産都市に指定された。

今では音楽大学に昇格した世界最古の音楽学校がある。生徒数が百数十名と少なく、アットホームな印象を与える。13ものパイプオルガン、豊富な練習室、更には敷地内に寮も備えられている。

現在2名の日本人が在学中。

レーゲンスブルクを舞台とした、池田理代子さんの漫画「オルフェウスの窓」にも登場。

上級生は、近くの教会のミサでオルガン演奏をすることもある。

## 🔔 レーゲンスブルク、お薦めの喫茶店

シュタットアムホーフの北の端にある喫茶店、Kuchenbar (ケーキ・バー)。

兄弟で経営する人気の喫茶店。ショーケースにはたくさんのお手作りケーキが並ぶ。各ケーキのイメージに合わせたお皿に盛りつけられるのも素敵。テイクアウトも人気。

ケーキが苦手な人には、朝食メニューがお薦め。サラミ3切れ、12ヶ月熟成したチーズ(Bergkäse)、炒り卵(卵2個使用)など、リストにチェック印をしていく、というユニークな制度。カプチーノもなかなかのもの。

小さな喫茶店だがフル回転。サービスも良く、一度訪れたら虜になってしまう。

<http://www.kuchenbar-regensburg.de/>



たくさんのケーキが並ぶ店内